第 15 回

「弥勒菩薩半跏思惟像」

アカマツ　高さ123.3㎝　7世紀前半
広隆寺蔵（京都市）
画像提供:飛鳥園
※『美術2・3』P.92に掲載

56億7千万年後の瞳

大好きなんだけど，その存在が遠くに感じられ，なかなか一方通行の思いから抜け出せない。片思いの時期が長い仏像との距離は，こちらから縮めていくしかありません。私は4回，その仏像に「会う」ことで，目が合い，心が通じ合い，友達になれると信じています。

子供の頃に「温泉に来たら帰るまでに4回はお風呂に入るんだよ」と，父に言われたことがありました。1泊の温泉旅行で4回もお風呂に入るのはなかなか大変なことで，当時は温泉よりも遊びたい気持ちでいっぱいでした。

それから数十年，今でも父の言葉どおり，温泉宿に泊まる時は，必ず4回はお風呂に入っている私。この「4回」が仏像との距離感を縮める数字でもあったとは！　父が何気なく口にした言葉は後に，私の仏像ライフにも大きな影響を与えることになりました。

そういえば最近，疎遠に感じている仏像がいらしたなぁ……。その仏像は，広隆寺（京都市）の弥勒菩薩さま。お釈迦さまが亡くなってから56億7千万年後にこの世に現れ，民衆を救いに来てくださるとされている仏さまです。

広隆寺にいらっしゃる弥勒菩薩さまは飛鳥時代に制作され，国宝第一号に認定されています。まだ悟りを開いていない，修行中の身である「菩薩」は通常，装飾品を身につけているのですが，広隆寺の弥勒菩薩さまは悟りを開き，如来となる未来のお姿を描いているので，とってもシンプル。

私は久しぶりに，安置されている霊宝殿に足を踏み入れ，弥勒菩薩さまの前に立ちました。

お会いするのは三度目。まだ友達までの関係には至っていません。「ご無沙汰しています」と挨拶すると，弥勒菩薩さまの姿が暗闇からぼんやり浮かび上がってきました。背の高さは約124㎝。華奢な体と，指を頬に当てるオッケーサインが印象的で，この日も，長い間ご無沙汰してしまった私に「全然オッケー」と，微笑みながら器の大きさを見せてくださいました。56億7千万年という時空を超え，この地球に到着される時も，きっと同じオッケーサインを見せてくださることでしょう。

そんな弥勒菩薩さまと友達になれるまであと1回。今回の訪問で，私たちの距離は5億年くらい縮まったような気がしました。

はな

横浜市生まれ。モデル・タレント。
17歳でモデルデビュー。
上智大学在学中もモデル活動を続け，
その後もテレビ・ラジオ出演，エッセイ執筆など
幅広く活躍。趣味はお菓子づくりや茶道，仏像鑑賞。
2017年9月に国宝応援大使に就任。著書に
『ちいさいぶつぞう　おおきいぶつぞう』（幻冬舎），
『はな，茶の湯に出会う』（淡交社）など多数。